仙台市地域防災リーダー
Sendaishi chiiki Bousai Leader

SBL通信

第23号

2026年10月 発行 仙台市危機管理局減災推進課



令和8年熊本地震派遣記録　仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人

8月2日から8日まで、総務省の応急対策職員派遣制度により熊本県で支援活動に従事しました。熊本市をはじめ複数市町の災害対策本部で、住宅被害や断水が続く地域の状況を確認しました。避難所では、全国から派遣された自治体職員や保健師・自衛隊員・ボランティアなど多くの支援者が、被災した方々を支えていました。特に印象に残ったのは、「余震が来るのが怖い!!」と話す子どもや、「前の熊本地震からまだ10年しかたっていないのに・・・」と涙する方々の姿です。



▲熊本市火の君文化センター

今回の地震は活断層による直下型地震でしたが、私たちが暮らす仙台市にも同様のリスクがあります。宮城県第5次地震被害想定では、長町-利府線断層帯を震源とする地震が発生した場合、地震火災だけで845人が亡くなり、17,825棟が焼失すると想定されています。被害を少しでも減らすためには、住宅の耐震化や家具固定に加え、避難時にブレーカーを切る習慣化や感震ブレーカーの設置など、一人ひとりが今からできる備えを進めることが重要です。



▲R7年熊本市南区富合地区
（地震前の様子）



▲地震発生後の熊本市南区富合地区

「マイ・タイムライン作成講座」講師の感想

SBL 澤田 宏美さん

大雨・土砂災害に備える避難計画「マイ・タイムライン」。その防災行動をSBLの立場から仙台市民の皆さんに伝えることができればと思い、今回、講師に志願しました。



事前に、防災・減災アドバイザー早坂さんによる「講座の進め方」を聞き、当日は減災推進課の後方支援、さらに実施するSBL講師は二人制という心強い体制で臨むことができました。当日は頼りない予習ながらも、早坂さんのフォローのおかげで、予定時間内に無事終了し安堵しました。

SBLは、フォローアップ講習やSBL通信などを通して、防災・減災の知恵をいただく立場でもあります。一方で、学んだことを市民目線で「伝える」ことも大切な役割だと、今回の講座を通して改めて実感しております。

地域活動が思うように進まない中でも、このような講師を担う機会が増えることは、SBLの活動を一歩前へ進める一助になるものと感じました。



＜令和8年度マイ・タイムライン作成講座SBL講師＞

【7月22日(水)宮城野区中央市民センター】 SBL伊藤隆志さん、SBL眞野美加さん

【7月29日(水)荒町市民センター】 SBL澤田宏美さん、SBL鈴木澄恵さん

【8月6日(木)旭ヶ丘市民センター】 SBL金沢竜助さん、SBL眞野美加さん

防災・減災News

知っていますか？ 流通在庫備蓄 と 集中備蓄

仙台市では公的備蓄として、指定避難所（小中学校など）や補助避難所（市民センター、コミュニティ・センターなど）に食料や飲料水、毛布などの物資を備蓄しています。これ以外に、備蓄物資を民間企業と協力して保管していることをご存知でしょうか。今回は、「流通在庫備蓄」と「集中備蓄」について紹介します。

＊＊ 流通在庫備蓄とは？ ＊＊

避難所で必要な衛生用品を民間倉庫で保管し、定期的に新しい物資に入れ替えて管理しています。それにより、災害時に新しい状態の物資を使用することができます。この備蓄は、みやぎ生協さんに協力をいただいています。

＜備蓄している物資＞

紙おむつ（子ども用、大人用）、生理用ナプキン、トイレットペーパーなど

民間倉庫による備蓄物資保管 ▶



＊＊ 集中備蓄とは？ ＊＊

避難所で必要な物資を民間倉庫で保管しています。この備蓄は、避難所生活環境改善の一環として令和７年度より開始し、下記の物資が必要となった場合には、運輸会社が指定避難所に配送します。令和８年度は佐川急便株式会社さんが配送を行います。

＜備蓄している物資＞ ワンタッチ式パーティション（仕切り）、簡易ベッド





災害時には、市が要請し必要な物資等を指定避難所へ配送します。この仕組みには、三つの利点があります。①必要な場所へ必要な量の物資等を届けられる。②避難所の保管スペースを使わない。③備蓄物資等を効率よく管理できる。

このように、仙台市では用途や数量に応じた備蓄方式を採用しています。しかし、大規模災害時には物資等の配送や供給に時間がかかることも考えられます。皆様には、こうした備蓄体制への理解を深めていただくとともに、各家庭における備蓄（自助）の重要性についても日ごろの呼びかけをお願いいたします。

ご存じですか!? 地震後の火災・半分以上は電気が原因!!

長町-利府断層帯地震の想定では
全壊焼失（火災）１７，８２５棟!!
備えましょう!! 感震ブレーカー



地震で電気が火災を起こす原因は…

- 倒れた家具の下敷きになって断線した電気コード
- 電気ストーブの上に落下した洗濯物
- ベッドに落ちた電気スタンド
- 照明の配線が天井裏で損傷

など様々

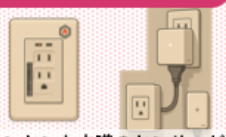


その火災 感震ブレーカー が防ぎます!!（効果的です）

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して、電気を自動的に止める自動的に止めてくれる器具（ブレーカー）です。

感震ブレーカーの種類

コンセント型



コンセント内臓のセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

分電盤簡易型



バネの作動や重りの落下でブレーカースイッチを落とす。

分電盤内臓型



分電盤に内臓されたセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

分電盤後付型



分電盤に外付けしたセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

お知らせ 令和８年度 今後の講習予定

【SBL 新規養成講習会】

★1日目 ①11月1日(日)・②11月3日(祝・火)
★2日目 ①11月21日(土)・②11月28日(土)

※新規養成講習の申し込みは終了しています。

【SBL 全市バックアップ講習会】

★令和9年2月10日(水)・2月14日(日)

SBL の皆さんには案内状が届きます。



SBL の 活動報告 待ってます！



SBLの皆さん、防災活動後の活動報告を忘れていませんか？新様式では複数名で活動された場合に、活動したSBL 全員のお名前が報告できるよう、様式を改めています。右の二次元バーコードからダウンロードしてください。

◇◆◇ 編 集 後 記 ◆◇◆

Ｒ８熊本地震発生の翌日早朝、熊本の友人から「私の所の状況を教えて！」の LINE。聞くと、スマホの電波が無い、停電でテレビの情報も無い、情報が全く無いとのこと。15 年前の東日本大震災を思い出しました。情報が無いのは変わらないけれど、確実に復旧は早くなりました。課題は情報が無く、余震が続く真っ暗な数時間を支えあえるかです。

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目７番１号 仙台市役所本庁舎２階 仙台市危機管理局減災推進課
TEL 022-214-3109(直通) FAX 022-214-8096 Ｅメールアドレス：kks000130@city.sendai.jp

大きな地震で起こる電気火災防止の為、感震ブレーカーを設置しましょう。

皆さんの掲載したい情報や活動などがありましたら、是非ご連絡ください！ 活動報告やご意見・ご相談もお待ちしております!!